

KOC通信

Vol.2

2024年 夏号

リウマチ・膠原病の専門治療

～整形外科と内科、両方のリウマチ専門医による治療～

当院の3Fに中庭を設けました。
2Fの診察室とリハビリテーション室には、
中庭の水盤を通して光のゆらぎが差し込みます。



医療法人社団 小室整形外科医院

小室整形外科医院

リハビリ リウマチクリニック

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科(膠原病外来)・皮膚科

〒616-8313 京都市右京区嵯峨野開町21 TEL : 075-871-0519

SNS



ホームページ



リウマチ・膠原病の専門治療

～整形外科と内科、両方のリウマチ専門医による治療～

リウマチ専門医による治療

当院では、内科と整形外科、両方の日本リウマチ学会リウマチ専門医(指導医)による治療を行っています。かつて“不治の病”といわれたリウマチ・膠原病は、治療で改善が期待できるようになりました。



<内科医の役割>

- ・のみ薬・点滴・注射を用いた治療
- ・内科的合併症(肺疾患・腎疾患・薬の副作用)等の治療

<整形外科医の役割>

- ・関節炎の痛みに対する治療
- ・破壊された関節の手術
- ・リハビリテーション
- ・生活の障害に対するアドバイス

内科医と整形外科医がそれぞれを補完し合う形で治療を行い、最大限の効果やリスクの最小化を図っています。

先端治療

当院では、日本国内で発売されているすべての薬を治療の選択肢に入れることが可能です。

先端医療として、関節リウマチの寛解(症状が消失している状態)が期待できる「JAK阻害剤」や「生物学的製剤」も用い

ています。その際、医師やリウマチケアナースを中心とする多職種チームで副作用や合併症などのトータル管理を行います。

※JAK阻害剤や生物学的製剤は、膠原病やリウマチ性疾患の治療にも用いることがあります。

Shared Decision Making



慢性疾患であるリウマチや膠原病の治療は長期間続きます。

そのため、治療においては患者様との共同意思決定(Shared Decision Making)を大切にしています。治療のメリット・デメリットを常に理解いただけるよう、患者様と一緒に確認しながら治療計画を進めます。治療内容や金銭面の負担に不安を感じた場合は、速やかに相談できる雰囲気づくりを心がけています。

リウマチケアナースの役割



リウマチケアナースとは、リウマチ性疾患の患者様に質の高いケアを提供するために、専門知識と経験を積んだ看護師です。当院ではリウマチケアナースを中心に、看護師がリウマチ治療をサポートしています。

具体的には、患者様の生活や治療に対する不安を傾聴して医師に報告し、治療に反映していきます。例えば、診察時に医師が

伝えた治療内容を患者様がきちんと理解されているかどうかを確認したり、患者様の日常生活での困りごとや、医師に伝えそびれたことなどをヒアリングしたりします。

また、治療に用いるお薬は患者様によって異なります。注射が月1回の方がいれば、毎週必要な方もいらっしゃいます。お薬だけでなく、採血やレントゲン検査なども含めて、「誰がいつ何をされたか」がわかるチェックリストをつかって、看護師全員で把握しています。治療計画に沿って、きちんと受診されているかを確認するのも、仕事の一部です。

副作用に困らずに、患者様の症状が少しでも良くなるよう、また、日常生活を楽しんでいただけるよう、なるべく笑顔でサポートしていきたいと考えています。

解説者：前田(看護師・主任)

理学療法士
解説

医療機関でのリハビリと代替療法・フィットネスの違い

1. 医療機関でのリハビリとは？

リハビリは、医師の指示のもと理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が行う医療行為です。整骨院・鍼灸院などで、柔道整復師やあん摩マッサージ師・はり師・きゅう師が行う施術は、代替療法といわれるものです。フィットネスは、健康な方が行う運動です。

当院のリハビリは、特に運動機能の回復



を目的とし、理学療法士が実施しています。

2. リハビリの具体例

足を骨折すると手術やギプスで患部を固定しますが、関節や筋肉が固まって動きづらくなります。そこで、筋肉を柔らかくするためのマッサージをします。さらに筋力トレーニングなどの運動を行います。慢性的な痛みの場合も姿勢や動作の変化を目指し、体の柔軟性や筋力を改善していきます。

3. 状態と治療法のマッチング

運動機能の低下や痛みに対しては、医師の診断が重要です。治療では、投薬・手術・リハビリ・生活環境の調整を組み合わせます。リハビリによって生活機能の低下をより詳細に把握できるため、治療計画にフィードバックしています。

解説者：井上(理学療法士・主任)

連携施設
紹介

宇多野病院

～川村副院長にお話を伺いました～



独立行政法人国立病院機構
宇多野病院
京都市右京区鳴滝音戸山町8
TEL : 075-461-5121



宇多野病院では「神経筋疾患(小児も)」「リウマチ・膠原病」「整形外科疾患」の治療に力を入れています。とりわけ、神経筋疾患の分野は創立後104年の中で長い伝統があり、世界に向けた研究発表も行っています。代表例は、パーキンソン病と関連疾患・多発性硬化症・てんかん・認知症です。

小室院長は、宇多野病院の手術室にてクリニックの患者様の人工膝関節手術を月1回以上行っています。また、神経筋疾患の患者様を紹介していただくことも多くあります。

かかりつけ医が何かおかしいと思われたときに相談してもらえよう、地域に役立つ病院として発展していきたいと考えています。

(川村副院長 談)

地域取材

株式会社キャビック

「移動×ケア」 タクシーを移動制約のある方の移動手段に。



株式会社キャビック
京都市右京区梅津段町8番地
タクシーTEL : 075-864-2100



1977年、キャビックはリフトを搭載した福祉タクシーを京都府下で初めて開発・導入しました。また、ドライバーの8割が介護職員初任者研修を修了しており、他のタクシー会社にはない特色があります。

福祉タクシーは主に通院に使われますが、キャビックでは、買い物やお墓参りの送迎のほか、介助が必要な高齢者や障がい者向けの日帰り旅行プラン『ケア旅』も用意しています。

タクシーには、公共交通機関のなかでもフットワークの良さがあります。移動制約のある方の利便性の高い移動手段として、これからも社会貢献していきたいと考えています。

(兼元社長 談)



医療法人社団 小室整形外科医院

小室整形外科医院

リハビリ リウマチクリニック

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科(膠原病外来)・皮膚科

〒616-8313 京都市右京区嵯峨野開町21 TEL : 075-871-0519

SNS



ホームページ

